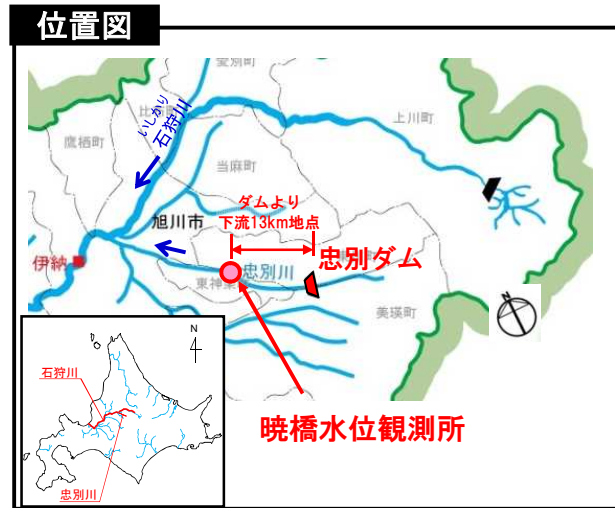


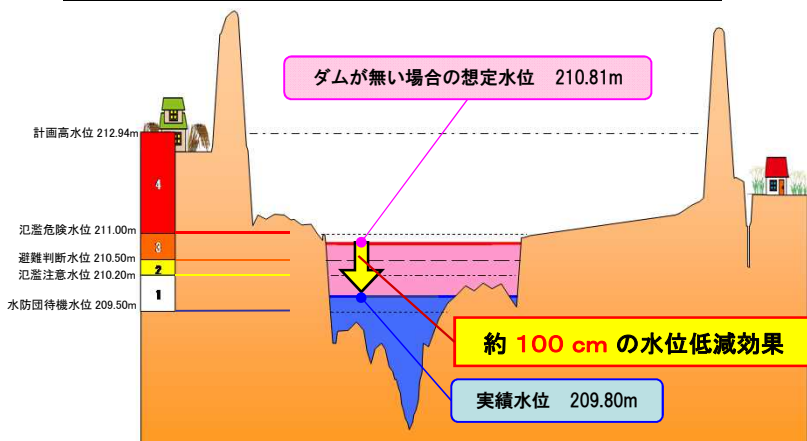
# ダム整備が効果を発揮（北海道 忠別ダム）（国管理）

- 平成30年7月3日、前線の通過に伴う降雨により、忠別ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測し、洪水期間中での総流入量が既往最大となる3625万m<sup>3</sup>を記録した。
- 忠別ダムの防災操作によって、ピーク時の水量を約1/9に抑え、下流の東川町(暁橋水位観測所)では、水位を約100cm低減させる効果があったものと推測されます。
- 仮にダムが整備されていなければ、避難判断水位\*を上回る出水となったことが想定されます。

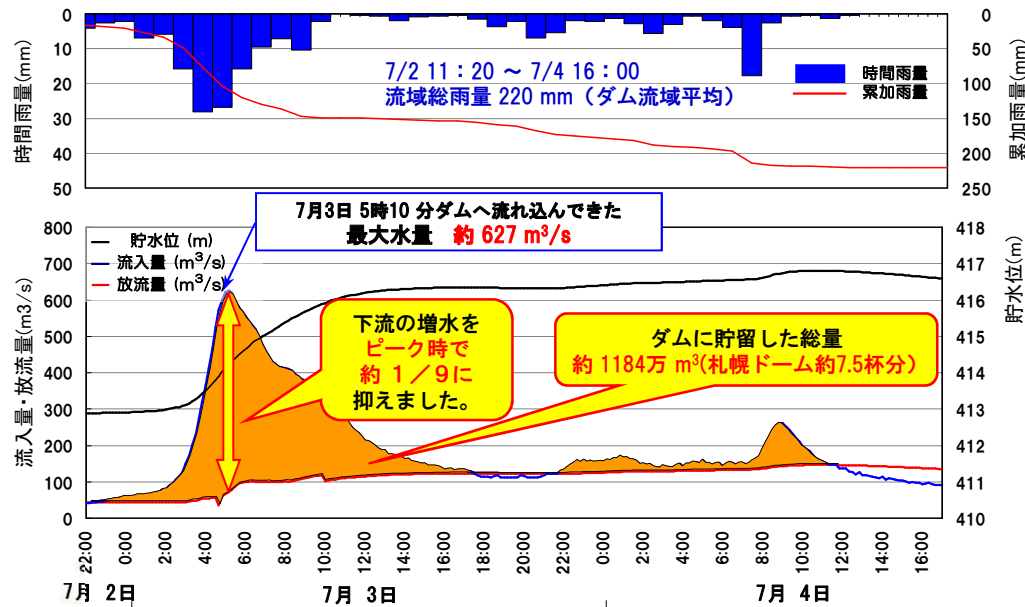
\* 避難判断水位：住民の避難判断の参考となる水位。



暁橋水位観測所地点における水位低減効果



## 忠別ダムの防災操作



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。